

平成22年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	普及	題名	9月下旬開花の切り花向け青色リンドウF ₁ 品種「いわてLB-2号」の育成	
[要約] 「いわてLB-2号」は9月下旬開花の切り花向け青色リンドウF ₁ 品種で、既存晩生品種「ジョバンニ」と比べて頂花房が開花しやすく、形質の斉一性が高い。				
キーワード	リンドウ	F ₁ 品種	晩生	技術部園芸研究室 県北農業研究所園芸研究室

1 背景とねらい

県が育成したリンドウの既存品種は、形質のばらつきが問題となっており、生産現場から形質の安定した出荷率の高い品種の育成が求められている。また、既存品種「ジョバンニ」の後に開花する品種がないため、9月下旬以降の生産に支障が出ている。

そこで、平成20年度より9月咲きF₁系統の組合せ検定を実施し、平成21年度に有望な3系統を選抜した(平成21年度研究成果)。今年度、その3系統を更に調査した結果、「いわてLB-2号」が有望と認められたので、その品種特性を紹介する。

2 成果の内容

(1) 来歴及び育成経過

平成19年にエゾリンドウの選抜系統「Ba」を母系、エゾリンドウの選抜系統「YRy」を父系として交配して育成されたF₁品種である。平成20年～22年にかけて品種検定を実施し選抜した。併せて母系および父系の集団を育成した。

(2) 特性の概要

ア 開花期：育成地(北上市)付近では9月下旬開花であり、既存晩生品種「ジョバンニ」よりも3半旬程度遅く、既存極晩生種「アルビレオ」より1～2半旬早い(表1)。開花期間は「ジョバンニ」と比べてやや短い(観察)。

イ 花：花色は「ジョバンニ」よりやや濃い鮮青紫であり、頂花房は開花しやすい(表2、図1、2)。

ウ 形質の斉一性：草丈、花段数、茎径、葉の大きさ等、形質のばらつきは「ジョバンニ」より小さく、斉一性が高い(表2)。

エ 草丈：「ジョバンニ」より30cm程度高く、伸長しやすい(表2、3)。

オ 茎：アントシアニンによる着色は「ジョバンニ」よりやや多い(表2)。

カ 側枝：側枝の発生は「ジョバンニ」よりやや多い(表2)。

3 成果活用上の留意事項

(1)平成22年のリンドウの開花期は夏期高温のため総じて遅延したが、「いわてLB-2号」の開花期は他品種との相対的な関係から、平年の気候下でも概ね9月下旬になると推察される。

(2)草丈が高いため、対応する支柱・ネットを設置する。

(3)平成20年～22年の慣行防除管理下において、問題となる病害の発生は無かった。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等

県下全域

(2) 期待する活用効果

栽培面積及び9月下旬出荷量の増加

普及見込み面積 5ha/年(種子供給開始5年後の栽培面積)

5 当該事項に係る試験研究課題

(191-1000)りんどうの品種開発[S49～H22/令達]

(H22-08)県北地域におけるりんどうの収益向上技術の確立[H22～H24/県単]

6 研究担当者

中里崇、川戸善徳

7 参考資料・文献

岩手県農業研究センター研究成果 H21-行-08 「9月咲き切り花青リンドウ有望系統の特性」

8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 農業研究センターF₁検定圃場及び現地実証圃の年次別開花期（平成21～22年）

	年次	株齢	開花期 (月・半旬)
農研センターF ₁ 検定圃場(花巻市)	平成21年	2年生	9・4
	平成22年	3年生	9・6
県北研究所(軽米町)	平成21年	2年生	9・5
	平成22年	3年生	9・6
雫石町	平成21年	2年生	
	平成22年	3年生	10・1
奥州市(衣川区)	平成21年	2年生	9・4
	平成22年	3年生	9・6
対照:ジョバンニ(農研センター、北上市) (農研センターF ₁ 検定圃場、花巻市)	平成21年	3年生	9・1
	平成22年	3年生	9・3
対照:アルビレオ(農研センター、北上市)	平年値	5年生	10・1

表2 「いわてLB-2号」の特性(平成22年、農業研究センター、3年生株)

品種名	草丈 (cm)	節数	切り花重 (g)	茎径 (mm)	立茎数 (本)	花段数	着花中央 節の花数	花冠外面 の色 ³⁾	頂花房の 開花性 ⁴⁾	茎の着色 程度 ⁵⁾	側枝発生 程度 ⁶⁾	葉の大きさ(cm)	
												葉長	葉幅
いわてLB-2号	163.7	29.6	89.9	5.6	11.8	7.4	3.6	鮮青紫	易	0.8	1.0	10.2	3.6
	(±6.5) ¹⁾	(±1.6)	(±18.1)	(±0.5)	(±0.4)	(±1.1)		8005				(±0.6)	(±0.3)
ジョバンニ(対照)	138.6	28.8	84.2	4.3	11.6	7.0	3.6 ²⁾	青紫	中～難	0.5	0.8	9.4	3.3
	(±13.7)	(±3.0)	(±29.7)	(±1.1)	(±0.7)	(±2.1)		8009				(±1.0)	(±0.5)

1) () は標準偏差

2) 品種登録時のデータ

3) 日本園芸植物標準色票による

4) 易～中～難

5) 無:0～淡:1～濃:2(アントシアニンによる着色)

6) 無:0～少:1～中:2～多:3

表3 現地実証圃の調査結果(平成22年、3年生株)

実証圃場所	草丈(cm)	節数	立茎数	花段数(段)
雫石町	166.5	26.9	7.5	5.7
奥州市(衣川区)	173.3	31.3	13.8	6.0



図1 「いわてLB-2号」の草姿



図2 頂花房の開花性の違い
左:いわてLB-2号 右:ジョバンニ